

令和 7 年度 学校関係者評価委員会 議事録

開催日時:令和 7 年 5 月 29 日(木)

参加者:評価委員 4 名 ・ 学校教職員 3 名

【学校評価を行う目的】

- 自己点検・自己評価を継続してきた中で、内部の自浄作用による改善を図ってきた経験から、学校関係者による評価も加えて学校運営の更なる改善を継続的に実施していく。
- 外部識者による評価を実施し、その結果を公表することで学校の健全運営を広く知って頂く機会とする。

【会議議題】

1、令和 6 年度自己点検自己評価の報告
別紙の通り

2、評価委員会からのご意見

I. 教育理念・教育目的・教育目標

教育理念がどの様に実現されているかを確認、教職員間で共有し、学生の目線にも立って伝わりやすくなるよう工夫してほしい。また、教職員や学生の理解が十分に浸透していないことが考えられるため、教育目標と実践とのつながりを明確にする必要がある。

II. 教育課程・教育活動

シラバスとの整合性については、より具体的な方法を実施するのが望ましい。カリキュラムに対する習熟度も考えなくてはならない。また他職種連携をシラバスに反映させることも重要と思われる。実習に関しては、実習指導者と教員との協働体制が取れており問題は無い。

III. 学生生活支援

学生一人ひとりの状況に応じた細やかな支援の強化が必要。安心して学習できる環境を整えながら、良い学習効果が得られるような支援を継続してほしい。また、卒後も安心して働き続けることができるよう、卒業生とのネットワークを強化してほしい。

IV. 学校経営・管理

ICT 環境の導入など、様々な取組を行っている事は評価できる。SNS(X、インスタなど)も今以上に積極的に取組んでどうか。

V. 教職員の育成

学会等の参加により、教員の意識統一が図れたのは喜ばしい。教育力の更なる向上を図る。

3、総括・次年度の課題等

次年度に向け、学生の評価(視点)も取り入れ、より良い学校運営の継続をお願いしたい。

以上